

# 女子 17年ぶり15回目の栄冠

## 卓球・全日本大学総合選手権

第85回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部卓球選手権・団体の部(7月16～19日、愛媛県武道館)で、女子が17年ぶり15回目の優勝を決めた。

シングルス4試合、ダブルス1試合の計5試合で勝敗を競う今大会。予選リーグを難なく突破すると、勢いを保ったまま決勝トーナメントの1、2回戦も危なげなく勝利。準々決勝の神戸松蔭

そこから逆転し、まず1勝を挙げ、第2試合を落としたものの、第3試合で安藤・鈴木李茄(商3・青森山田高)ペアが1ゲームも与えず勝利。第4試合は鈴木が2ゲームを連取。優勝に王手をかけた3ゲーム目は相手も意地を見せ、ジュースに持ち込まれたが、最後はエースがきっちり試合を決めた。

安藤は単複共に全勝し、殊勲賞に選ばれた。チームをけん引した鈴木は「ダブルスに安藤が入ったことで安定感が増し、勝率が上がった。全員で3勝するという気持ちで、お互いにフォローしながら勝つことができた」と話し、9月の秋季リーグ戦に向けて「春季と今大会を制したこと

で、これまで以上に研究されてくると思うが、自分たちの力を存分に発揮して春秋連覇を果たしたい」と力強く語った。また男子はベスト8に入り、ランキング5位という結果を残した。(木村健人・商2)

### レスリング・アジアジュニア選手権

## グレコ 55kg級 桑山が銅



アジアの舞台上で表彰台に立った桑山(右端)

レスリングのアジアジュニア選手権(7月9～12日、ミャンマー・ネピドー)が行われ、グレコ55kg級で桑山裕貴(商1・中津商高)が銅メダルを獲得した。

「印象に残った」という2回戦は北朝鮮の選手と対戦。残り30秒でポイントを奪い3-3。ラストポイントでの逆転劇を見た。準決勝はインドの選手に敗れ、3位決定戦で投げ技を得意とする台湾の選手と対戦。フォールの体勢に持ち込まれたところをうまく逃げ切ると、その後はローリング技でポイントを重産し、14-6で快勝した。

国際大会で初のメダルを獲得した桑山は「シニアの階級でも戦っていい選手に敗れ、3位決定戦で投げ技を得意とする台湾の選手と対戦。フォールの体勢に持ち込まれたところをうまく逃げ切ると、その後はローリング技でポイントを重産し、14-6で快勝した。」と語った。

### 中村が2位

スペインGP

中村は決勝で韓国の選手と対戦。互いに譲らない試合展開から、消極的なプレーとみなされ30秒間のアクティビティタイムに1点を献上してしまふ。テクニカルポイントにはならなかったものの0-1で惜敗した。

「課題の攻撃力を12月の全日本選手権までに調整するとコメントした。(岡野希春・経済3)

# 5人がメダル獲得

第28回ユニバーシアード競技大会(7月2～14日、韓国・光州)に専大からは5競技に10人が出場し、5人がメダリストになった。

### 卓球複・銅

庄司は、北岡エリ子(日立化成)との「カソットマンコンビ」で出場。1回戦(不戦勝)、2回戦(3-0)、3回戦(3-0)、準々決勝(4-1)と順調に勝ち上がり、準決勝の相手は台湾のペア。試合はシートマンコンビで出

場。1回戦(不戦勝)、2回戦(3-0)、3回戦(3-0)、準々決勝(4-1)と順調に勝ち上がり、準決勝の相手は台湾のペア。試合はシートマンコンビで出

退したが、銅メダルを獲得した。

### サッカー・銅

GK福島春樹(法4・静岡学園高)とDF秋間大樹(経済4・瀬谷高)が出場。

主将を務めた福島はグループリーグ2試合、準々決勝、3位決定戦に、秋間はグループリーグ2試合、準決勝、3位決定戦でフル出場した。全6試合で1失点と堅守を誇ったユニバ代表にあつて、ともに守備の要として奮闘し、2大会連続の銅メダル獲得に貢献し

団体戦については「準決勝までは順調だったが、ストレートで負けてしまった中国戦では、力を発揮することができなかった」と語った。(阿部理志・文3)

### 野球・金

高橋礼投手(商2・専大松戸高)が出場した。

ユニバーシアードでの野球競技の実施は第18回大会以来3回目。侍ジャパン大学日本代表は史上初の金メダルを目指し、決勝戦まで駒を進めたが悪天候で試合は中止となり、台湾と両チーム優勝という形でメダ

ルに輝いた。高橋は初戦の韓国戦と準決勝のアメリカ戦にリリーフ登板。計2イニングを投げ、無安打3奪三振(1四球)と好投した。初の外国でのマウンドに「日本人よりもスイングが力強く、芯に当たってさえないように心がけた。直球が通用して自信になった」と語った。(飯塚恒成・文2)



今年度2つ目のタイトルを獲得した部員たちと阿部勝幸監督



No. 353

大会結果 予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からアクセス)で確認ください。専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com) 大会結果を配信しています。



右から鈴木、庄司



福島(右)と秋間―撮影・村橋



ユニバーシアード後も好投を続ける高橋(8月2日、ジャイアンツ2軍とのオープン戦で)

高橋拓也(経済4・東亜学園高)、藤中謙也(経営4・宇部商高)が出場した男子バレーボールは6位。高橋風子(商4・聖霊女子短大付高)、菊池小巻(商1・翔陽高)が出場したフェンシング女子フルレール団体は8位、谷口琢弥(ネット情報4・鹿児島南高)の男子エペ団体は入賞を逃した。